

第19回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成19年2月

応募者名：茨城県 土木部 都市局 公園街路課

事業の名称：研究学園都市計画道路事業

3・2・7号 学園中央通り線

8・4・3号 南北自由通路

実施都市名：茨城県 つくば市

事業の目的

東京都心と筑波研究学園都市を直結するつくばエクスプレス開業により、中心市街地を通る都市計画道路学園中央通り線においては、地下に終点のつくば駅が位置するなど、急激な交通需要の増加が見込まれた。

このことから、学園中央度通り線の「6車線化拡幅」と地下自由通路としての機能と駅の出入り口としての機能を併せ持つ「南北自由通路」をエクスプレス開業にあわせ整備した。

事業概要 (1)

事業名: 研究学園都市計画道路事業

路線名: 学園中央通り線

事業箇所: つくば市吾妻

事業延長: 0.395km (2号歩道橋79m・3号歩道橋54m)

幅員: 40m (6車線) (2号歩道橋4m・3号歩道橋4m)

路線名: 南北自由通路

事業箇所: つくば市吾妻

事業延長: 0.105km

幅員: 18m

総事業費: 約52億円

事業期間: 平成11年～平成17年

事業概要 (2)

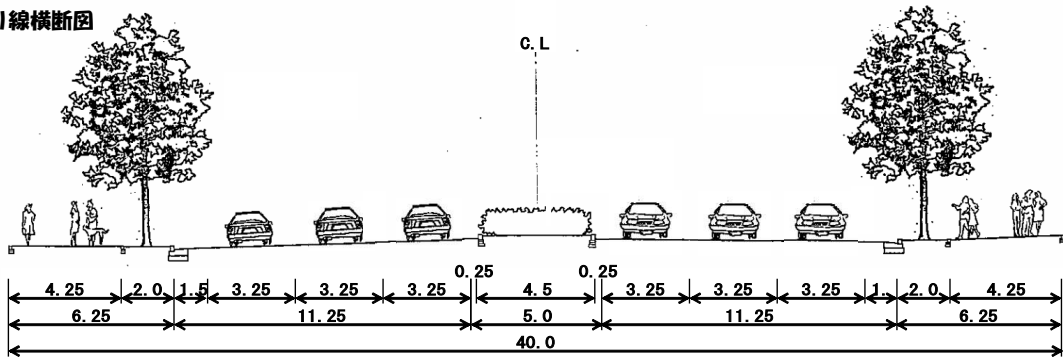
本事業は、学園中央通り線395mを4車線から6車線へ拡幅するとともに、中央2号歩道橋79m、中央3号歩道橋54mの架替整備を行い、地域住民の利便性の向上を図り、安全で安心な道路整備を実施した。

また、TXつくば駅との一体化に配慮し、商業施設との直接接続による利便性の向上だけでなく、ゆとりある空間とすべての人にやさしいユニバサールデザインを採用し延長105m、幅員18m(出入口5箇所)の地下自由通路として南北自由通路を整備した。

事業位置図



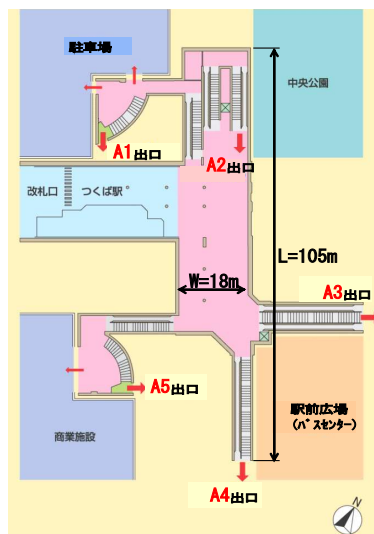
学園中央通り線横断面



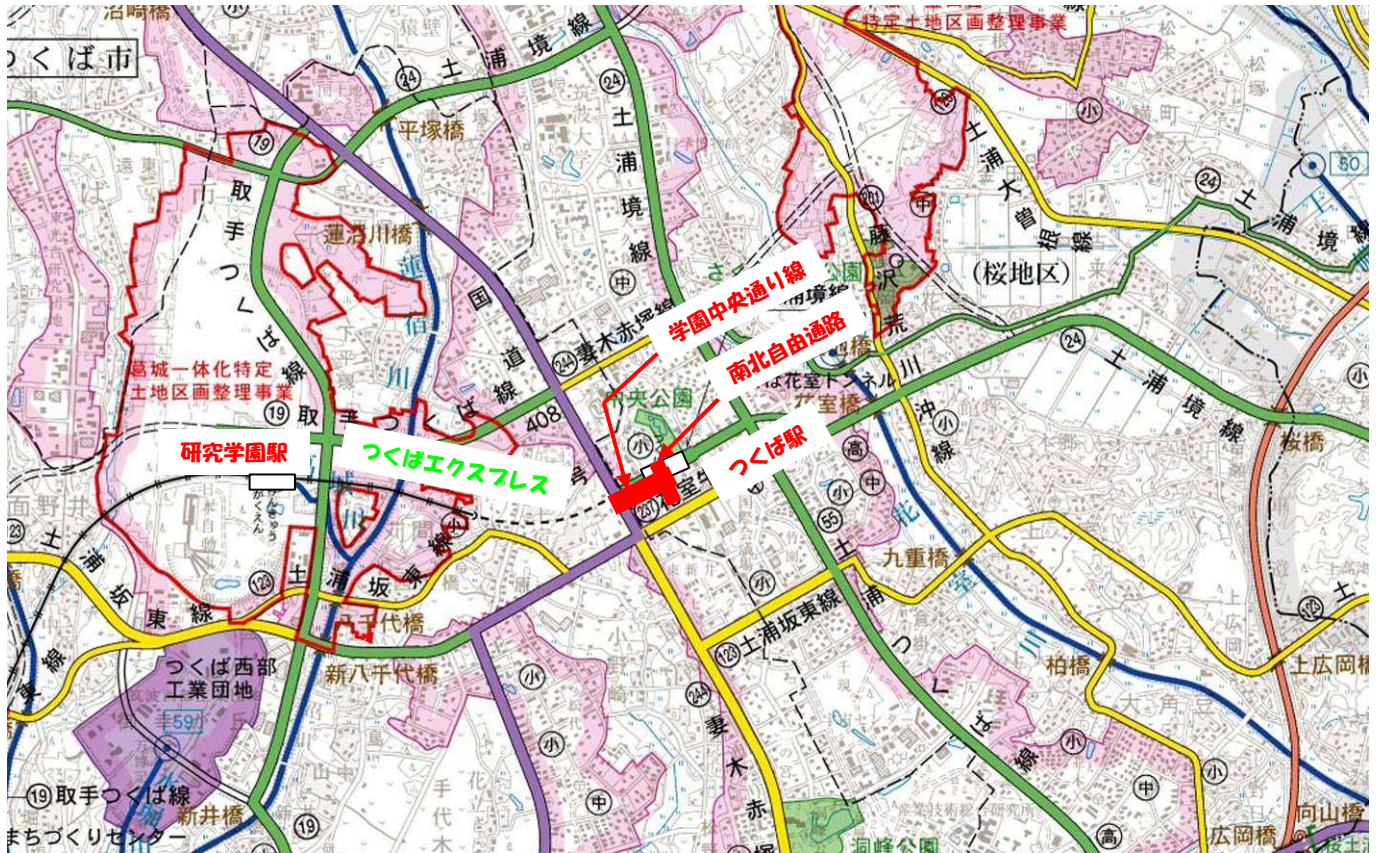
南北自由通路イメージパース



南北自由通路平面図



学園中央通り線・南北自由通路の整備効果アピール資料



○事業概要

事業名: 研究学園都市計画道路事業
 路線名: 学園中央通り線
 (【】内は南北自由通路)
 事業箇所: つくば市吾妻地内【〃】
 事業延長: 0.395km【0.105km】
 幅員: 40m(6車線)【18m】
 総事業費: 約52億円
 事業期間: H11～H17年度

○交通量調査結果

学園中央通り線
 供用前 平成16年 7月10日
 供用後 平成17年10月23日
 歩行者 872人/12h → 1,582人/12h
 自転車 447台/12h → 758台/12h
 自動車 6,768台/12h → 11,012台/12h
 南北自由通路
 供用後 平成17年10月13日
 歩行者 0人/12h → 17,211人/12h

「整備効果」

- 交通量の増加 全体で約2倍増
- 旅行速度の向上
 学園中央通り線 約30%向上
- 地域振興への寄与
 つくば駅へのアクセス道路の整備により、駅及び隣接する商業施設駐車場などへのアクセス性が向上し、自由通路については、歩行者の利便性・快適性・安全性の向上などつくば駅周辺の地域振興に寄与している。



事業前: H10.4



事業後: H18.11

事業前写真

平成6年8月撮影



平成7年4月撮影

平成6年8月撮影



平成18年11月撮影



平成18年11月撮影

平成18年11月撮影

